

ISO/TC46/SC11, Stockholm 会議の決議書

Resolutions of the 20th ISO/TC 46/SC11 Plenary meeting, 19 – 22 May 2008, Stockholm, Sweden

SC11 Chair

1 議長は、以下のことを決議する。原則としてプログラムコーディネーションチームを認可。チームガバナンス構造、戦略の方向性、業務上ガイダンスを TC46/SC11 に次の会議までに提案する。

WG1 : Records Management Metadata

2 ISO23081 の簡単な調査をもとに、ISO23081 を使う利点について主なポイントの研究をフォローアップ活動として行う。この活動は、Greg Goulding, Barbara Reed, Sue Franklin によって行われ、WG1 のメンバーに 2008 年 10 月 23 日までに配布され、2008 年 11 月の会議にて話し合われる。

3 ISO23081 Part 3: self assessment guide については一時保留。convenor が MADRAS の現況について調べ、次回会議にてその報告が行われる。

4 implementation guidance の問題に関しては、WG は意見を Trish O'Kane に本会議から 2008 年 9 月 1 日までの間に送る。その後 WG1 に草案が 10 月 23 日までに配布され、2008 年 11 月の会議にて話し合われる。

5 小規模 WG(Hans Hofman + Raivo Ruusalepp) が ISO23081 が MoReq2, ICA functional requirements といった既存文書にどう関係するのかを調べ、その結果が WG1 に 2008 年 10 月 23 日までに配布される。

6 Getting started with a metadata schema (N800)の最終ドラフトを作成する。本最終ドラフトは SC11 に 2008 年 6 月 1 日までに配布され、その後 ISO/CS マーケティング部に提出され、一般に公開される。

7 N800 に対する Trish O' Kane の活動に感謝する。

WG7 Digital records preservation (Joint WG with TC 171 SC 2)

8 ISO/DTR 26102vs4 ``Requirements for the long-term preservation of electronic records``に関する、現在の活動の目的を見直すことを決定。そのために、Paul Mullon, Alan Shipman, Barbara Reed, Hans Hofman, Paul Wester, Raivo Ruusalepp, Elisabeth Klett, Sue Franklin からなるグループを構成。2008年9月23日までに、グループは目的を達成するのに必要なステップを決定する。この見直しの結果次第では、現在のクライアントのニーズだけを満たす範囲を狭めたスコープを持つ新しい文書になるかもしれない。新しい文書の範囲の提案及びタイムフレームは WG7 に 2008年10月23日までに配布される。

WG8 and WG9 Resolutions

9 WG8 Records Management Systems Fundamentals and Vocabulary

WG8 は以下を決定。 ``RM Systems Fundamentals and Vocabulary`` のワーキングドラフト：バージョン2 を WG8 と WG9 に 2008年8月29日までに配布。それに対し、両グループのメンバーは意見を Convener (Judith Ellis) に 2008年10月11日までに送付する。その後、バージョン3 が WG8, WG9 (及び SC11 メンバー (ただし SC11 からのコメントは受け付けない)) に 2008年11月15日までに配布され、2008年11月に WG8 にて話し合われる。

10 WG9 Records Management Systems Requirements

Records Management System Requirements のバージョン2 を WG8 と WG9 メンバー (及び SC11 メンバー (ただし SC11 からのコメントは受け付けない)) に 2008年10月15日までに配布。両グループのメンバーは Convener (Carlot Bustelo) にコメントを 2008年11月15日までに送付、2008年11月に WG9 にて話し合われる。

11 WG8 と WG9 は以下を決議。個別会議のあと、2008年11月の会議にて、合同会議を持つことを決定。 .

WG 10 Implementation Guidelines for Digitization of Records

12 (N003) Implementation Guidelines for Digitisation of Records における活動を継続。同活動は7月中旬までに完成され、2008年7月末までにヴァージョン

2に組み込まれる（付録部分は除く）。その後、付録部と新しい本文内容の一貫性の確認が行われ、2008年8月10日までにテクニカルレポートとしての正式投票のために National Member Bodies に送付される。National Member Bodies のコメント・投票結果については2008年11月WG10ミーティングにて話し合われる。

13 WG10は、保存目的での文書の電子化に関する新しいワークアイテムのスキームの研究を行う。調査はSangmin Lee（韓国）によって率えられる。同氏がスキームの開発を行い、2008年9月末までにWGメンバーに送付し、2008年11月会議にて話し合われる。

Ad Hoc – Digital Records Conversion Process

14 ARMA/ANSI Digital Records Conversion Standard を ISO Standard にするという新しいワークアイテムのプロポーザルを2008年7月末までに作成され、その後SC11投票のため配布される。投票にて認められれば、プロジェクトチームが任命され、現在のドラフトに migration を含み、適切な所に ISO 15489 and ISO 23081 の概念を組込む準備活動が行われる。

Ad Hoc Group – Business Continuity Planning

15 A report will be presented to SC11 on this work at the November 2008 meeting. WG9 ``Records Management Systems Requirements``に business continuity planning を含むことを検討することを決定。目的は、Risk assessment for RMS に関する Ad Hoc Group の活動を研究し、またリスク管理について書かれているスタンダード（ISO 15489を含む）を見直し、これ以上のガイドラインが必要かどうかを検討することである。Paul Wester (US) が2008年9月30日までに Ad Hoc Group members によって行われた研究を照合し、本研究をサポートする。本研究結果はSC11に2008年11月会議にて発表される。

Ad Hoc Group DRAMBORA (Digital Repository Audit Model Based on Risk Assessment)

16 Risk Assessments for Records Management Systems に関する新しいワークアイテム草案が2008年7月末までに作成され、SC11投票のため8月10日に

配布される。投票にて認可された際には、新しいプロジェクトチームが任命される。

Marketing

17 SC11 は議長がマーケティング戦略・計画に基づくマーケティングの目標を2008年10月23日までにさらに発展させることに合意。またその結果は、SC11に2008年11月の会議に向けて配布される。

Liaison

18 SC11 は以下のことを決定。議長は TC171 の議長及び適切な subcommittee chairs と戦略会議を持ち、両コミッティーの範囲や現在提案されているワークアイテムについて話し合う。SC11 は議長に提案ワークアイテムの取り上げについて一任し、会議結果については次の会議で報告される。

19 SC11 は以下の個人/団体に感謝する。(省略)

以上